

I. 広東省

1. 中秋節・国慶節期間の風紀取締に関する通達

●9日、胡春華・省党書記主宰の省党常務委員会議で、中秋節・国慶節期間、「四風」問題について厳しく取り締まり、祝祭日期間の風紀を確保し、中央の八項目規定の精神を根づかせるべく手配を行なった。10日、省党常務委員会議の要求に基づき、省党・政府弁公庁が「中央の八項目規定の精神を深く貫徹・実行し、中秋節・国慶節期間の「四風」問題における後戻りを断固として防止することに関する通達」を出した（9月12日付『南方日報』）。

※四風：形式主義、官僚主義、享楽主義、贅沢の風潮。

2. 中露海上合同軍事演習の開催

●年度計画に基づき、12日～19日、広東省湛江市で中露両海軍が南シナ海空域の合同軍事演習（「海上連合2016」）を行う。演習総監督は王海・中国海軍副司令官とフェドテンコフ・露海軍副総司令官、演習指揮は愈満江・南海艦隊副司令官（9月12日付『南方日報』、『広州日報』）。

3. 胡春華・省党書記が全米商工会議所の国際問題担当副部長一行と会談

●12日午後、上記会談で胡春華・省党書記は、同商工会議所との意思疎通を緊密にし、協力を深め、両地域の貿易及び双方向の投資のためのプラットフォームを構築し、同商工会議所が広州市でアジア太平洋理事会のビジネス・サミットを開催することを歓迎すると伝えた（9月13日付『南方日報』）。

4. 国家林業局と広東省が協力枠組み協定に署名

●12日午後、胡春華・省党書記立会いの下、朱小丹・省長と張建龍・国家林業局長が上記枠組み協定に署名。双方は国家級森林都市の建設、国土緑化、森林の質の向上、林業の発展・科学技術イノベーション・インフラ建設等の分野で全方位的な協力を進めていくことで合意（9月13日付『南方日報』）。

5. 省政府による党組織拡大会議・「法律学習日」報告会の開催

●12日午前、朱小丹・省長主宰の上記会議・報告会で、「法治政府建設実施綱要（2015年～2020年）」について集中的に学習。袁曙宏・國務院法制弁公室副主任がガイダンス（9月13日付『南方日報』）。

6. 人代による監督業務交流検討会の開催

●12日、中国人代制度理論研究会の一部の省・市による上記交流検討会が開催され、盛華仁・同研究会特別招聘理事（元全人代副委員長）が出席。黄龍雲・省人代常務委員会主任が挨拶。広東省、北京市、浙江省、上海市、湖南省、甘肅省、山西省、山東省、重慶市、河南省、江西省、寧夏回族自治区等の人代常務委員会弁公庁、研究室、研究会、河北省邯鄲市人代の責任者が発表（9月13日付『南方日報』）。

7. 省政協党組織による特別テーマ学習会の開催

●12日午前、王榮・省政協主席主宰の上記学習会で、「周恩来同志が語る共産党員の自己改造」について集中的に学習し、「遼寧省の選挙違反取締状況、及びその教訓・警告に関する中央の通達」、「中央の八項目規定の精神を深く貫徹・実行し、中秋節・国慶節期間の「四風」問題における後戻りを断固として防止することに関する通達」の精神について伝達・学習（9月13日付『南方日報』）。

8. 胡春華・省党書記がアラン・マレー編集長と会談

●13日午後、胡春華・省党書記、任学鋒・広州市党書記が2017年広州・フォーチュン誌グローバル・フォーラムの記者会見に出席したアラン・マレー・フォーチュン誌編集長と会談。任学鋒・市党書記、何忠友・副省長も同席（9月14日付『広州日報』）。

9. 第30回省党集中学習検討会の開催

●13日午前、胡春華・省党書記主宰の上記学習検討会で、「現在の金融業の発展とリスク管理」をめぐる特別テーマについて学習。劉明康・経済委員会副主任がガイダンス（9月14日付『南方日報』）。

10. 広東省参事政策決定諮問会議の開催

● 13日午後、胡春華・省党書記が上記諮問会議を主宰し、講話を行い、省政府参事、文史研究館スタッフが行なっている特別テーマ研究の進捗状況、関連意見・提案について聴取。朱小丹・省長も出席し講話（9月14日付『南方日報』）。

11. 省人代が全面的に厳格な党の統治に関するガイダンスを開催

● 13日午後、紀律教育・学習月間イベントとして、省党・省紀律検査委員会の要求、省人代常務委員会機関の段取りに基づき、曾超鵬・省紀律検査委員会副書記が「情勢を正確に把握し、紀律のボトムラインを厳守し、全面的に厳格な党の統治・政治責任を真剣に履行する」と題したガイダンスを行なった。省人代常務委員会副主任の張広寧、陳小川、劉悦倫が出席、陳逸葵・省人代常務委員会秘書長が主宰（9月14日付『南方日報』）。

12. 第19回広東省-香港協力連絡会議の開催

● 14日午前、胡春華・省党書記、朱小丹・省長が、上記会議に出席するため広州市を訪れた梁振英・香港特別行政区長官と会談。仇鵬・中央政府在港連絡弁公室副主任、何忠友・副省長、キャリー・ラム香港特別行政区政務長官等も同席（9月15日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 元幹部との国慶節祝賀・中秋節座談会の開催

● 12日、上記座談会で任学鋒・市党書記が挨拶。陳建華・市人代常務委員会主任、蘇志佳・市政協主席が同席。王世彤・市組織部長が主宰（9月13日付『広州日報』）。

2. 市政府常務会議の開催

● 12日午後、温国輝・市長の委託を受けた欧陽衛民・常務副市長主宰の上記会議で、「農村の生活汚水処理に関する業務実施案（2016年～2017年）」、「インターネット上での事務手続き管理法」等について審議し採択（9月13日付『広州日報』）。

3. 広州市が2017フォーチュン・グローバル・フォーラムを誘致

● 来年11月または12月初めに開かれ、フォーチュン500（世界のトップ500）企業のリーダーが広州に集い、世界経済について議論することとなった（9月14日付『広州日報』）。

4. 市党常務委員会議の開催

● 13日、任学鋒・市党書記主宰の上記会議で、現代的な公共文化サービス・システムの構築、精緻な貧困救済業務について検討し手配（9月14日付『広州日報』）。

4. 法律執行状況の点検に関する座談会の開催

● 13日、市人代常務委員会が「中華人民共和国特殊設備安全法」、「エレベーター・エスカレーター使用に関する広東省安全条例」に関する広州市の貫徹・実施状況について点検を行なった。午前、中国石化・広州支社、広州九豊ガス有限公司の液化ガス貯蔵タンク、越秀公園等7か所で実地点検を行い、同日午後、座談会を開催。陳建華・市人代常務委員会主任、同副主任4人、陳小清・同秘書長等が検査（9月14日付『広州日報』）。

5. 中秋節・国慶節期間の風紀取締に関する通達

● 13日、市党・政府弁公庁が「中央の八項目規定の精神を深く貫徹・実行し、中秋節・国慶節期間の「四風」問題における後戻りを断固として防止することに関する通達」を出した（9月15日付『広州日報』）。

6. 市文明委員会全体会議等の開催

● 14日、任学鋒・市党書記主宰の2016年広州市文明委員会全体会議、並びに精神文明建設業務連絡会議が開催され、同市が精神文明の建設を深く推進すべく検討し手配（9月15日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. 陳情対応業務に関する調整会議の開催

● 12日午後、馬興瑞・市党書記主宰の上記会議で、陳情対応関連業務の進捗状況を聴取し、問題解決のための意見について検討（9月13日付『深圳特区報』）。

2. 中秋節・国慶節期間の風紀取締に関する通達

● 中秋節・国慶節の到来にあたり、紀律の厳格さを明確にし、中央の八項目規定精神の成果を揺るぎなく深く実行し、「四風」問題における後戻りを防止し、祝祭日期間の風紀を確保するため、13日、深圳市紀律検査委員会は通報された7つの典型的な事例を公開した（9月14日付『深圳特区報』）。

3. 劉恩・市人代常務委員会副主任がインド人民党議員一行と会談

● 13日、上記会談で劉副主任は、次のように述べた。インドは「一帯一路」沿線の重要な国であり、ここ数年、深圳市とインドの協力の成果も豊富である。両地域はITソフト、バイオ医薬、インフラ建設、現代サービス業等の分野で互いの強みを補い合い、双方の未来のために、実務的な協力がより多くのチャンスを作り出している。インド人民党議員は、次のように述べた。深圳市のイノベーションによる発展の成功は、インドの都市がその経験を学ぶに値する。双方が情報、経済・貿易、港湾、インフラ等多分野での協力を強化し、共同发展を実現させたい（9月14日付『深圳特区報』）。

4. 中国-シンガポール「一帯一路」経済協力ハイレベル・フォーラムの開催

● 13日、深圳市で上記フォーラムが開催され、両国ビジネス界のリーダー、エコノミスト等が「一帯一路」、フィンテック、エネルギー、デジタルアセットに注目し、新たな情勢下における新シルクロードを背景に、両国の協力を発展させていく問題について討論し、「一帯一路」を通して両国の経済のために、更に多くの協力の機会を作り出していくことについて検討した（9月14日付『深圳特区報』）。

5. 改革の全面的な深化に関する市党指導チーム会議の開催

● 14日午後、馬興瑞・市党書記主宰の上記会議で、「公安機関の警務補助員管理の改革案」について審議し採択。また、医薬・衛生制度改革の深化に関する進捗状況、「高等教育の発展を急ぐことに関する若干の意見」について聴取（9月15日付『深圳特区報』）。

6. 馬興瑞・市党書記が坪山新区を視察

● 14日午前、上記視察で馬興瑞・市党書記は、国家ハイテク産業開発区の拡大計画・建設に力を入れ、「1つの区に多くの産業パーク」というイノベーションによる発展のための新たなたまたまを急いで形作るよう強調（9月15日付『深圳特区報』）。

7. 深圳代表団がドイツを訪問

● 10日～12日、上記訪問で許勤・市長は、インダストリー4.0、職業教育、医療、文化、コンベンション開催等の分野を重点的に視察し、ドイツとの都市間交流・協力を更に強化し、中国-ドイツの全方位的な戦略的パートナーシップづくりを推進すべく、積極的に貢献していくとした（9月15日付『深圳特区報』）。

8. 市党常務委員会会議の開催

● 17日晚、馬興瑞・市党書記主宰の上記会議で、胡春華・省党書記が「広西-広東貧困救済協力に関する業務連絡会議」で述べた講話の精神を伝達・貫徹し、市党・政府代表団による百色市、河池市の視察状況が報告され、「深圳市と広西・百色市、河池市の貧困救済協力に関する業務プラン」について審議し採択（9月18日付『深圳特区報』）。